

評価シート 様式

取組名	「スローフード運動による食農と工芸と環境融合型のまちづくり推進」事業		
実施団体名	食農と工芸と環境融合型のまちづくり推進協議会	対象地域	宮崎県綾町
(代表団体名)	(有)綾わくわくファーム	推薦団体名	綾町

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかつたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

評価シート 様式

取組名	「スローフード運動による食農と工芸と環境融合型のまちづくり推進」事業		
実施団体名	食農と工芸と環境融合型のまちづくり推進協議会	対象地域	宮崎県綾町
(代表団体名)	(有)綾わくわくファーム	推薦団体名	綾町

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	農村における新たなライフスタイルを構築し、これにもとづく滞在型プログラムの提供を通じた交流人口・定住人口の増加によって地域振興を果たそうとする全国的にも先導性・モデル性の高い事業である。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)	
本取組は、有機農法の先進地である綾町において、地産地消の食材・食文化と工芸によって農村の新たなライフスタイルを創造し、長期滞在プログラム提供や移住促進を実現しようとする取組であり、地域住民の高い帰属意識と良好なコミュニティによって地域全体の綿密な連携体制を構築することにより実現しつつある点が高く評価できる。今後は、以下に留意しつつ地方の元気再生事業として支援を行うことにより継続的な展開が期待できるものである。	
次年度以降については、事業の本格展開に向けては、スローフードが集客力を持つことが必要となるが、現在は農家の協力で食農を実現している段階であり、今後、本格的なスローフードによる滞在型プログラム展開までのスケジュールを明確にして進める必要がある。また、綾町については、従来からの観光資源である綾杉、綾城、照葉樹林などと、このスローフードの成果を連携させた全体の観光戦略を明確として進める必要がある。さらに、こうした活動の後継者育成という観点からも、長期的な方針を明確にして進める必要がある。	
個別の取組については、滞在型集客・交流の商品開発・ツアーの実施については、ツアーが本年度実施済みのこともあり、商品開発に絞って実施すべきである。	